

Stationery 3



### 花びらにメッセージをのせて ぬくもりまで届ける「フラワーメモ」

手のひらにのせると、ゆっくり丸まるメモ。熱や湿気に反応する素材の特性を活かした「フラワーメモ」は、花脈まで再現された繊細なデザインで、仕事の味気ないメモにも気持ちをプラスしてくれそう。ピンク、イエロー、ブルー、色ごとに形が違います。各20枚入り450円（税別）。販売元／（株）山越

Stationery 4



### シンプルで多機能＝スマート 携帯できるホワイトボード「Butterfly Board2」

カフェなどでの打ち合わせでも活躍しそうな「Butterfly Board2（バタフライボード2）」。特殊なマグネットで4枚のボードを自在に連結・分離できます。クリアボード、専用極細ペンとクリーニングクロスもついたセットでA4（4,000円）、A5（3,500円）の2サイズ（すべて税別）。販売元／バタフライボード（株）



Stationery 5

### デスクの上で世界旅行 世界の時刻が一目瞭然「ワールドクロック」

ドイツ・アイゼン社の「ワールドクロック」は、世界の時刻がわかる楽しい鉛筆削り。経度15°ごとに数字の振られたダイヤルを世界地図に合わせて、地球の裏側の景色に思いを馳せれば、ピンチ脱出のヒントが閃く、かもしれない。全4色、各340円（税別）。取扱店／山田文具店ほか

### 時には「ボールペン以上」が必要 手軽に使える低価格万年筆「preppy」

取引先への書類や手紙に、近ごろ人気の低価格万年筆はいかがでしょう。滑らかな書き味で、独自の技術によりペン先が濁きにくい「preppy（プレッピー）」は、YELL編集部でも常備品となっているオススメの一本です。細字（全7色）各300円（税別）のほか、中字、極細も。販売元／プラチナ万年筆（株）



Stationery 6

書ければいい、貼ればいいでは、ちょっと味気ないのが文房具。そこで、編集部では「デスクの上にあつたらいいな」という視点で文房具を選んでみました。  
オフィスの中だけにとどまらない昨今のワークスタイル、手書きの復権、仕事のシーンにも求められる癒し。  
今回ご紹介する「あつたらいいな文房具」は、仕事とデスクの上に、機能だけではない、コミュニケーションのタネを届けてくれるような気がします。



## ピンチに役立つ… かもしれない あつたらいいな文房具

仕事の必需品である文房具。使い慣れた定番を選ぶか、機能満載の新製品を選ぶか？仕事の効率アップはもちろんですが、癒やしてくれたり、ピンチを救ってくれたりするはずですよ。

Stationery 1



### 急な名刺交換でも慌てない 「薄さ0.5ミリ」の名刺入れ「CARDRIDGE AIR」

名刺入れを持たずに社内打ち合わせに参加したら、取引先を紹介され…。そんなビジネスマンのピンチを救ってくれるのが、手帳や財布にはさんでおける超薄型名刺入れ「CARDRIDGE AIR（カードリッジエア）」。プロジェクトごとの名刺を持ち歩く場合も重宝します。約5枚の名刺を収納可能。「エア」は2つ入り（全6色）、500円。他に紙質の違う「プロ」（1つ入り500円）、牛革を薄くすいた「デュン」（1つ入り2,300円）もラインナップ（すべて税別）。販売元／（株）ロンド工房

### 重要部分をきっちりマーク 切り離して貼れる付箋「ココサス」

付箋を貼ったものの、ページのどこが重要だったのか、迷子になってしまったことはありませんか？1枚を切り離して貼れる「ココサス」なら、マークした箇所を「ココ」だと教えてくれます。ブックマークされたページを開けば瞬時に重要箇所がわかり、仕事の効率アップも期待できる、かも。無地のシンプルなものから、さまざまなキャラクターシリーズまで、バリエーションも豊富なため、シーンに合わせた使い分けも可能。360円（税別）から。販売元／（株）ビバリー

Stationery 2

